

第1回米子駅周辺活性化専門家委員会 開催概要

日時 2018年6月8日(金) 13:50~15:30

場所 米子市役所5階 議会第1会議室

出席者 別紙のとおり

●協議概要

今回の委員会は、最初の委員会であることから、特に議題を定めず、各委員から、現状の課題、これからの駅周辺について等、自由に意見を伺った。

【委員からいただいた主な意見】

○全体に関する意見

- ・ 広範囲に面的な整備を考えるべき。だんだん広場の場所だけではなく周辺の整備も一体で考える必要がある。
だんだん広場の機能が駅の自由通路の中心の辺りに持ってくるような大きなゾーニングの変更はありえるのか。
→現在正面にも広場機能があるので、そういったものを活用するということはできると思う。(事務局)
- ・ 自由通路の階段は両側に降りる計画になっているので、人の流れが2つに分かれてからそれをどう誘導するかというようなことも考えていかなければならない。
- ・ 駅の乗降客か米子市民全体かなど、どういった人をターゲットとした整備をするのかをはっきりさせないといけない。
- ・ まず、米子市がこのエリアだけではなくて、活性化していく拠点にどういう役割・機能を持たせていくのかというコンセプトを決めなければ、そこに対して具体的に提案していく話に繋がっていかない。このエリアをどうしていきたいのかという議論をして作りこまないと何が出来ても上手く行かない。
- ・ 賑わい創出ということなら駅を利用する人だけを対象にするのではなくてここに人が集まることを考えようということになるのではないのか。

○グルメプラザに関する意見

- ・ だんだん広場を斜めに横切る人の流れが無くなってきたこと、自動車や自転車などを一時的に止めるスペースが無いことなどを改善することなどがこのエリアの活性化を進めていく上で重要になってくるのではないのか。

- 交番の位置の変更などは出来るのか。
→鳥取駅北口の風紋広場は鳥取市に管理移管する際に一部改築して、そのときに駅の中にあった交番を風紋広場の一角に移転させた実績がある。
(鳥取県)
- J R 西日本の指令ビルによってだんだん広場の方が見えないということもあって、なかなか利用が進んでいない。大規模に改修するのであれば、どのようにサイン(案内)を作っていくかを考える必要がある。

○だんだん広場に関する意見

- イベント開催にあたり、搬入、搬出にトラックを数台使用する。その際の一時的に駐車出来るスペースがあると良い。
- 文化ホールの前にも雰囲気の良いスペースがあるので機能分担してはどうか。
- 元町通り商店街のパティオ広場は、商店街が日常の管理を行っており、商業利用可能な広場として使い勝手が良いという意見がある。そのようなシステムがあれば、だんだん広場の使用頻度も上がってくると思うが可能なのか。
→都市公園法に基づく都市公園であるため画一的に利用の緩和は難しい。法的規制が少なく、こちらの判断で色々できるようなものにしていきたい。
(事務局)
- 都市公園はそう簡単に廃止できないはずだが、面積の一部を駅南側に持つてくるということも出来るのか。
→都市公園都市公園の指定を外すことによって、米子のために今よりも価値の高い使い方が出来るということを説明する必要がある。それから、市は誰を相手にした施設を立地させたいのか、それに何が加われば更なる街の活性化になるのか、あるいは観光や商業の拠点として強化するのかということクリアにしないと多分民間の方も立地するための提案が出来ない。
- 緊急時の避難場所になっているのであれば用途に関係してくるのではないか。それによって、例えばバスセンターなどの人の流れを誘導できるような施設を持つてくるなどの発想も出てくる。
→【後日、本市防災安全課へ確認】避難所としては指定されていない。
- だんだん広場も緑でもあって憩えるようなところだったら落ち着くかなと思う。
- もう少し(広場としての)法規制などが整備されれば、不動産業者にとって投資をする価値は十分ある場所だと思う。

- ・ 進む方向に目的地が少しずつでも見えるというのが施設配置のあり方だと思うが、だんだん広場は、それが色々な建物で分断されている。
また、人が滞留する場所が動線から離れている場合は、そこに本当に目的がないと行かない。だんだん広場がそのような場所になっているのではないか。

○駅前広場（地下駐車場、地下道、ロータリー等）に関する意見

- ・ 一般車とタクシーを分離することについては、人と車の動線が上手に分離できるような考え方をし、バスターミナルも含めての検討が必要だと思う。
→タクシーロータリーや地下駐車場は道路という位置付けになっている。全体の計画の中では、米子合掌像なども含めてその辺の組み換えというのは考えていかなければならない。委員の皆様から方向性のヒントをいただければと思う。（事務局）
- ・ 地下道は、主に身障者や高齢者などがエレベーターを利用しており、インバウンド等の駅利用者は地上部の横断歩道を頻繁に利用している。
- ・ 駅を利用して米子に来た人にとっての利便性、使いやすさというのはどうしても外せない部分があるので、駅前の動線はセンターをフラット（地下道ではなく地上部）で通すというのは必要だと思う。最近インバウンドの方も大きな荷物を持って移動するので階段の昇り降りは出来ない。そういう使う人の立場を考えたときにどういった動線がいいのかというのを考えないといけない。
- ・ ワシントンホテルから駅に向けての動線について、再検討し、使いやすい、移動しやすい動線とすることが必要。

●次回の委員会について

- ・ 委員からいただいた意見を参考に、事務局から、整備に向けた市の考え方等を示し、議論いただきたい。

参加者名簿

	所属		氏名	出欠
官公庁等	鳥取県	西部総合事務所地域振興局 局長	広瀬 龍一	○
	J R西日本米子支社	山陰地域振興本部 担当課長	国森 浩	○
学識経験者	鳥取大学	地域学学部教授	山下 博樹	欠
	米子工業高等専門学校	建築学科准教授	小椋 弘佳	○
地元経済団体等	米子商工会議所	専務理事	山根 淳史	○
	米子商工会議所青年部	まち未来推進委員会 担当副会長	木谷 直也	○
	鳥取県経済同友会西部地区	鳥取島根合同委員会 委員長	長谷川 義明	○
	米子信用金庫	総合企画部長 兼戦略営業室統括室長	岡村 哲晶	○
地元事業者等	米子駅前商店街振興組合	理事長	金山 博眞	○
	元町通り商店街振興組合	理事長	遠藤 至弘	○
米子市	経済部長		大塚 寿史	○
	都市整備部長		錦織 孝二	○

アドバイザー（案）

	UR都市機構（独立行政法人都市再生機構） 西日本支社都市再生事業部中国都市再生事務所 まちづくり支援課	小林 周	○
	米子金融会（事務局：山陰合同銀行米子支店）	吉川 浩	欠

事務局

米子市	総合政策部都市創造課	米子駅周辺整備推進室
	都市整備部都市整備課	